

目 次

口 絵

南アルプス遠望・中央アルプス展望(カラー)
市章・駒ヶ根市役所
駒ヶ根市の歌

まえがき

駒ヶ根市長・駒ヶ根市誌刊行会長

座 光 寺 久 男

例 言

目 次

第七章 文化(続)

第二節 社会教育

一 公民館

(一) 赤穂公民館

- 1 沿 革……………四
- 2 組織と機構……………八
- 3 公民館活動の目標・方針と事業……………一〇
- 4 各学級および講座のあゆみと活動……………一四
- 5 諸行事と活動……………三三
- (二) 中沢公民館……………四〇
- 1 沿 革……………四〇
- 2 組織・機構……………四六

3 公民館活動の目標と事業

(二) 東伊那公民館

- 1 沿 革……………五
- 2 組織・機構……………五
- 3 活 動……………六
- 4 東伊那遺跡の発掘……………三
- 付 生活改善……………六
- (一) 五人組の移り変わり……………六
- 1 明治新政における五人組の編成……………六
- 2 明治七年一月筑摩県五伍之法則を定める……………六
- 3 大正二年三月制定の赤穂町規約書の伍長組合規約……………六

4	太平洋戦争下における体制	七〇
5	戦後における自治組織	七〇
(一)	明治五年の改暦	七〇
1	改暦の理由	七〇
2	新しい時刻法	七〇
3	新しい暦	七二
4	年中行事	七三
(二)	明治八年十二月の儉約確定書と学校寄付	七三
(四)	松方デフレ政策による緊縮生活	七六
(五)	旧暦禁止と節儉規約	七八
1	赤穂村の興風会	七八
2	中沢村の勤儉会	七八
3	伊那村の節儉規約	八〇
(六)	昭和恐慌における生活改善	八二
(七)	戦時下における生活改善	八二
1	国民精神総動員の強化	八二
2	部落会・町内会・隣組の設置	八二
(八)	戦後における生活改善	八二
一一	図書館	八二
(一)	駒ヶ根市立駒ヶ根図書館	八二
1	沿革	八二
2	施設	八二
3	組織	八二
4	資料	八二
5	活動	八二
(二)	駒ヶ根市立駒ヶ根図書館	八二
(三)	駒ヶ根市立駒ヶ根図書館中沢分館	八二
(四)	駒ヶ根市立駒ヶ根図書館東伊那分館	八二
(五)	駒ヶ根市立駒ヶ根図書館	八二
(一)	駒ヶ根市立駒ヶ根博物館	八二
1	駒ヶ根博物館のあゆみ	八二
2	組織と運営	八二
3	資料	八二
付	中沢小学校郷土室と東伊那小学校郷土室の開設	八二
4	文化財の指定および保護	八二
(二)	修史事業	八二
1	明治九年町村誌編集	八二
2	赤穂村史編集	八二
3	中沢村誌編集	八二
4	村沢吟治郎編「赤須上穂旧記録鈔」出版	八二
5	駒ヶ根市誌編纂資料収集と調査活動	八二
6	駒ヶ根市誌編纂委員会の組織と運営	八二
7	赤穂小学校百年史・中沢学校百年誌の刊行	八二
8	資料集「中沢」の刊行	八二
9	小林憲雄著伊那郡誌上伊那篇	八二
10	下村雅司著「赤穂事件夢痕集」と「赤穂」	八二
第三節	教育行政機関および教育関係団体	八二
一	教育委員会制度以前の教育行政機関	八二
二	教育委員会	八二
三	教育関係団体	八二

	(一) P T A	一六
	1 P T A以前	一六
	2 P T Aの設立とその目的	一九
	3 P T A役員	二〇
	(二) 同窓会	二一
	1 赤穂学校同窓会	二一
	2 中沢学校同窓会	二一
	3 東伊那学校同窓会	二一
	第四節 文化活動	二七
	一 概 説	二七
	一一 学芸・芸能	二七
	(一) 短 歌	二九
	1 赤穂桂園派	二九
	2 赤穂季鷹派	二九
	3 実行教の布教と小町谷杉園・八玉彦	二九
	4 大正以降	三〇
	5 駒ヶ根短歌教室	三〇
	6 短歌会(東伊那)	三〇
	7 生活をうたう会(中沢)	三〇
	(二) 俳 句	三〇
	1 当地における俳句のはじまり	三〇
	2 幕末より現代までの俳人	三三
	3 井上井月と交友門人	三四
	4 「伊那の俳人」にのっている人々	三六
	5 駒ヶ根会	三九
	6 「アルプス」誌	三〇
	7 「信濃俳句新聞」「耕土」など	三〇
	8 俳句関係行事	三一
	9 現在行なわれている駒ヶ根の俳句研究団体	三一
	10 その他	三一
	(三) 絵 画	三三
	1 画 家	三三
	2 美術団体	三五
	(四) 書 道	三六
	1 書をよくした人々	三六
	2 書道クラブ	三六
	3 書道教室	三六
	4 書道教室(中沢)	三七
	(五) 算 学	三七
	(六) 刀 芸	三七
	(七) 茶道・華道	三八
	1 概 説	三八
	2 華道如月会	三八
	3 華道七つの会(中沢)	三八
	4 生花会(東伊那)	三八
	(八) 舞 踊	三八
	1 日本舞踊	三八
	2 婦人レクリエーション研究会	三九
	3 駒ヶ根さつき会	三九

三	著名の人物……………	三五	四	社会事業などに関する団体……………	三三
1	劇場興行……………	三三	(一)	上伊那郡斯民会……………	三三
2	赤穂演劇研究会……………	三四	(二)	上伊那学生会……………	三三
(イ)	芸 能……………	三三	(三)	昭和三年七月赤穂村諸団体……………	三三
(ロ)	盆 栽……………	三三	(四)	駒ヶ根ロータリークラブ……………	三三
(ハ)	詩……………	三三	(五)	駒ヶ根ライオンズクラブ……………	三三
3	グリーンエコー……………	三三	(六)	駒ヶ根青年会議所……………	三四
1	駒ヶ根合唱団……………	三三	(七)	日本禁煙友愛会駒ヶ根支部……………	三四
2	母親コーラス……………	三三	(八)	駒ヶ根VYS……………	三五
(イ)	音 楽……………	三三	(九)	日本ボーイスカウト駒ヶ根第一団……………	三五
(ロ)	琵琶……………	三三	五	青年会……………	三五
(ハ)	童話会……………	三三	(一)	青年会以前の「若連」……………	三五
(ニ)	講 談……………	三三	(二)	青年会結成とその活動……………	三七
(ホ)	謡 曲……………	三三	(三)	町村単位の青年会の沿革とその活動……………	三八
2	詩吟グループ(中沢)……………	三三	1	赤穂青年会……………	三八
1	駒ヶ根吟詠会……………	三三	2	中沢青年会……………	四〇
(イ)	詩 吟……………	三三	3	伊那村青年会……………	四七
(ロ)	将 棋……………	三三	(四)	駒ヶ根市連合青年会(略称市連青)……………	五一
(ハ)	棋……………	三三	1	市連青の会則……………	五一
(ニ)	詩……………	三三	2	組 織……………	五三
1	概 説……………	三〇	3	活動の目標・方針と事業……………	五三
2	囲碁クラブ……………	三三	4	経 費……………	五四
(イ)	概 説……………	三〇	六	婦人会……………	五四
(ロ)	囲 碁……………	三〇	(一)	駒ヶ根市三地区婦人会の沿革……………	五四
(ハ)	将 棋……………	三三	1	赤穂婦人会……………	五四

2	中沢婦人会	二五七
3	東伊那婦人会	二五九
(一)	太平洋戦争前後の婦人会活動	二六二
(二)	長野県連合婦人会の発足と事業	二六三
(三)	駒ヶ根市連合婦人会	二六三
1	会則	二六三
2	事業その他	二六三
3	市連婦発足以来の主な事業	二六三
第五節 社会体育		
一	概説	二六七
二	駒ヶ根市体育指導員	二六八
三	体育協会	二六八
(一)	駒ヶ根市体育協会	二六八
(二)	中沢体育協会	二六九
(三)	東伊那体育協会	二六九
四	各種スポーツ	二七〇
(一)	野球	二七〇
1	野球の始まり	二七〇
2	社会人野球の興隆	二七〇
3	戦後の野球(軟式)	二七〇
(二)	弓道	二七〇
(三)	剣道	二七〇
(四)	駒峰山岳会	二七〇
(五)	相撲	二七〇
第六節 宗教		
一	明治以降の宗教行政の概説	二七七
(一)	社寺祿の通減	二七七
(二)	神仏分離	二七六
(三)	神仏分離を強め、高遠藩は士族授産のため寺の竹林を収奪した	二七六
(四)	神祇官を神祇省に更に教部省に改める	二七六
(五)	太平洋戦争前(大正十五年)昭和十五年まで)の宗教制度	二七六
(六)	太平洋戦争終結後の宗教団体法の廃止と社会不安	二七六
(七)	戦後の宗教界は政府の保証監督から離れる	二七六
二	神道	二七六
(一)	神社神道の推移	二七六
1	明治前後の世直し神符と神道	二七六
2	社格の制定と神社氏子数書上による戸籍事務の担当	二七六
3	神道の信仰のあり方(付宗教生活調査集計表)	二七六
4	現在の宗教生活の概観	二七六
5	明治初年の上伊那の神職同盟会	二七六
6	神葬祭の事	二七六
(六)	駒ヶ根登山マラソン大会	二七六
(七)	狐友会	二七六
(八)	空手道	二七六

17	伊那森神社……………	三五	7	安性寺……………	三五
16	宮石社……………	三五〇	6	大法寺……………	三五〇
15	高鳥谷神社奥宮……………	三五八	5	如来寺……………	三五三
14	高鳥谷神社……………	三五二	4	観音寺……………	三五三
13	諏訪社(永見山)……………	三五二	3	長春寺……………	三五二
12	諏訪社(大曾倉)……………	三五〇	2	安楽寺……………	三五八
11	諏訪社(中山)……………	三五〇	1	光前寺……………	三五〇
10	諏訪社(吉瀬)……………	三七七	(一) 主な寺院……………	三五〇	
9	中曾倉神社……………	三五六	(一) 明治以後の仏教の概況……………	三五六	
8	御坂山神社……………	三五五	三 仏 教……………	三五六	
7	福岡社……………	三五四	8	その他……………	三五五
6	高見地域における諸社……………	三五三	7	駒ヶ岳講……………	三五四
5	香花社……………	三五三	6	丸山教……………	三五三
4	中沢の諸社概説……………	三五〇	5	黒住教……………	三五三
3	三和社……………	三五元	4	御岳教……………	三五二
2	大宮五十鈴神社……………	三五五	3	不二教と実行教……………	三五二
1	大御食神社……………	三五三	2	金光教……………	三五〇
(二) 主な神社……………	三五三	1	天理教……………	三五九	
13	戦時中における戦捷祈願……………	三三二	(二) 教派神道……………	三五九	
12	斎田の設置……………	三三二	23	四徳神社……………	三五九
11	神饌幣帛料供進の制が定まる……………	三三二	22	蚕玉神社……………	三五七
10	神社に対する奉仕・献木・寄付等……………	三三〇	21	高山神社……………	三五六
9	社寺の統廃合……………	二九八	20	栗林神社……………	三五五
8	神祇制の強化……………	二九六	19	神明社……………	三五四
7	氏子総代……………	二五四	18	塩竈社……………	三五三

第八章 観光と文化財

8	寿松院	三五
9	蔵澤寺	三五
10	常秀院	三五六
11	桃源院	三五八
12	善法寺	三九九
13	善福寺	三九九
14	栖林寺	四〇一
15	大蔵寺	四〇一
16	明明以降の廃寺	四〇三
四	キリスト教	四〇三
(一)	明治初期の上伊那のキリスト教	四〇四
(二)	明治憲法以後の信教の自由	四〇五
五	新興宗教	四〇六
1	PL教団	四〇六
2	霊友会	四〇六
3	立正佼正会	四〇六
4	創価学会	四〇〇
5	月日教	四〇一
六	民間信仰	四〇二
(三)	赤穂にキリスト教がひろまる	四〇五
(四)	大正期の入信者	四〇五
(五)	太平洋戦争とキリスト教	四〇六
(六)	戦後のキリスト教	四〇六
(七)	キリスト教会一覧	四〇八
第一節	概説	四一五
第二節	山と高原	四一六
一	県立公園 中央アルプス	四一六
(一)	木曾山脈	四一六
(二)	西駒ヶ岳登山道	四一七
(三)	西駒ヶ岳登山の歴史	四一七
(四)	ロープウエー	四二〇
(五)	縦走路	四二二
二	高鳥谷山	四二三
三	戸倉山	四二三
四	陣場形山	四二四
五	駒ヶ根高原	四二四
(一)	切石公園	四二五
(二)	駒ヶ根公園	四二五
(三)	駒ヶ根高原別荘地	四二六
(四)	菅の台と大田切川流域	四二六
(五)	林道古城線と古城	四二六

第三節 名勝・旧跡・文化財

一 光前寺	四七〇	3 光前寺の仁王	四八六
(一) 光前寺客殿西部庭園	四七〇	4 駒ヶ根の木食仏	四八六
(二) 光前寺本堂東部庭園	四七三	5 下平観音寺の十王像	四八七
(三) 光前寺の仁王	四七四	6 吉瀬の不動明王像	四八八
(四) 杉並木	四七五	7 野村家の地藏菩薩像	四八八
(五) 三門 本堂	四七六	(四) 駒ヶ根の石造文化財	四八九
(六) 弁天堂及び堂内厨子	四七六	(五) 著名な石造文化財	四九〇
(七) 霊犬早太郎の墓と経藏	四七六	1 明徳の古塔	四九一
(八) 三重塔	四七六	2 吉瀬の古塔	四九一
(九) 宝 物	四七六	3 大久保の応永の塔	四九一
(十) 光前寺境内にある石造物	四七六	4 大久保の六面地藏塔	四九一
二 重要文化財旧竹村家住宅と駒ヶ根市郷土館	四七六	5 下塩田の応永の灯籠塔	四九一
(一) 旧竹村家住宅	四七六	6 光明地の荒神像	四九二
(二) 駒ヶ根市郷土館	四七六	7 菅沼穴山の古塔	四九二
三 有形文化財	四七六	8 野村家の伽藍塔	四九二
(一) 建造物	四七六	9 栗林栖林寺にある伽藍塔群	四九二
1 高鳥谷神社本殿	四七六	10 善福寺の准胝観世音石像	四九二
2 光前寺の弁天堂・厨子 三重塔	四七六	11 駒ヶ根市内の貞治の石仏	四九二
(二) 絵 画	四七六	12 庚申塔	四九二
1 光福寺の開山画像	四七六	13 道祖神	四九二
(三) 彫 刻	四七六	14 光前寺の道しるべ	四九二
1 光前寺地藏菩薩坐像	四七六	(六) 旧道・古い橋の礎石・猪垣	四九二
2 横前円通寺の聖観音及び厨子	四七六	1 春日街道	四九二
	四七六	2 大田切川の橋場跡	四九二
	四七六	3 猪 垣	四九二

(イ) 経塚……………	四七九	六 公園……………	四八五
1 吉瀬の経塚……………	四七九	(イ) 公園の生い立ち……………	四八五
2 栗林の石経塚……………	四八〇	1 遊園地の起り……………	四八五
(ハ) 切支丹の墓……………	四八〇	2 公園管理規則ができる……………	四八五
(ホ) 阪本天山の壱田の碑……………	四八一	3 公園管理条例に改める……………	四八五
四 無形文化財……………	四八一	4 駒ヶ根市公園条例の制定……………	四八六
(イ) 光前寺稚児舞……………	四八一	(イ) 駒ヶ根公園……………	四八六
(ロ) 大御食神社と大宮五十鈴神社の獅子練り……………	四八二	(ロ) 馬見塚公園……………	四八六
(ハ) 高鳥谷神社 矢納めの神事……………	四八二	(ハ) 切石公園……………	四八七
(ニ) 刀匠 田中庄吉……………	四八三	(ニ) 共楽園……………	四八七
五 古城址……………	四八三	(ロ) 児童公園……………	四八九
(イ) 赤穂地区の古城址……………	四八三	(イ) 思い出の名所……………	四八九
(ロ) 中沢地区の古城址……………	四八三	(ハ) 不動滝……………	四九〇
(イ) 東伊那地区の古城址……………	四八四		

第九章 民俗……………

はじめに…………… 四九三

第一節 衣生活…………… 四九四

一 服装の変遷…………… 四九四

二 頭 髪…………… 四九六

(イ) 男子の頭髪…………… 四九六

(ロ) 女子の髪型…………… 四九六

六 公園…………… 四八五

(イ) 公園の生い立ち…………… 四八五

1 遊園地の起り…………… 四八五

2 公園管理規則ができる…………… 四八五

3 公園管理条例に改める…………… 四八五

4 駒ヶ根市公園条例の制定…………… 四八六

(イ) 駒ヶ根公園…………… 四八六

(ロ) 馬見塚公園…………… 四八六

(ハ) 切石公園…………… 四八七

(ニ) 共楽園…………… 四八七

(ロ) 児童公園…………… 四八九

(イ) 思い出の名所…………… 四八九

(ハ) 不動滝…………… 四九〇

三 手織・木綿くみ…………… 四九七

四 野良着…………… 四九八

(イ) 男の野良着…………… 四九八

(ロ) 女の野良着…………… 四九八

五 戦後の服装…………… 五〇〇

第二節 食生活…………… 五〇一

一 「つねの食」と「はれの食」…………… 五〇一

(一) 「つねの食」	五〇一	四 すがれ	五五
(二) 「はれの食」	五〇二	第四節 年中行事	五七
二 農作業と食事	五〇五	一 正月行事	五七
三 主な食品	五〇八	(一) 大正月	五七
四 味噌・醤油	五〇九	1 元 日	五七
(一) 味噌煮	五〇九	2 二 日	五八
(二) 味噌・醤油	五〇	3 三 日	五〇
1 味噌	五〇	4 六 日	五〇
2 醤油	五一	5 七 日	五一
五 漬物	五一	6 正月の旅芸人	五一
六 食事と食器	五二	(二) 松 間	五二
(一) 食 事	五二	7 松 間	五二
(二) 食 膳	五三	8 八 日	五三
(三) 食 器	五三	9 十一日	五三
七 味付飯	五四	10 十三日	五三
第三節 生 業	五五	(三) 小正月	五五
一 農 耕	五五	11 十四日・十五日	五五
(一) 百姓四季仕事	五五	12 十六日	五九
(二) 農家作業	五九	13 十七日	五九
(三) 小作に関する慣習	五三	14 二十日	五九
二 炭 焼 き	五五	二 春 夏の行事	五九
三 川 魚	五七	15 二月朔日	五九
(一) 天竜川水系の魚類	五七	16 二月 節分	五九
(二) 魚のとり方	五三	17 二月 初午	五〇

41	棚	新	盆	八月十六日	盆	五月七
39	盆	八月十四日・十五日	盆	五月六	盆	五月六
38	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
37	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
36	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
35	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
34	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
33	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
32	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
31	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
30	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
29	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
28	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
27	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
26	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
25	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
24	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
23	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
22	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
21	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
20	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
19	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
18	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五

三

盆行事

41	棚	新	盆	八月十六日	盆	五月七
39	盆	八月十四日・十五日	盆	五月六	盆	五月六
38	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
37	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
36	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
35	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
34	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
33	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
32	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
31	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
30	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
29	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
28	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
27	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
26	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
25	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
24	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
23	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
22	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
21	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
20	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
19	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五
18	盆	八月十三日	盆	五月五	盆	五月五

五

歳暮行事

63	十二月三十一日	十二月三十一日	十二月三十一日	十二月三十一日	十二月三十一日	十二月三十一日
62	歳徳神	歳徳神	歳徳神	歳徳神	歳徳神	歳徳神
61	門松・注連飾	門松・注連飾	門松・注連飾	門松・注連飾	門松・注連飾	門松・注連飾
60	暮勘定	暮勘定	暮勘定	暮勘定	暮勘定	暮勘定
59	御歳暮	御歳暮	御歳暮	御歳暮	御歳暮	御歳暮
58	餅搗き	餅搗き	餅搗き	餅搗き	餅搗き	餅搗き
57	十二月二十五日	十二月二十五日	十二月二十五日	十二月二十五日	十二月二十五日	十二月二十五日
56	煤掃き	煤掃き	煤掃き	煤掃き	煤掃き	煤掃き
55	十二月二十二日	十二月二十二日	十二月二十二日	十二月二十二日	十二月二十二日	十二月二十二日
54	十二月八日	十二月八日	十二月八日	十二月八日	十二月八日	十二月八日
53	大師講	大師講	大師講	大師講	大師講	大師講
52	恵比寿講	恵比寿講	恵比寿講	恵比寿講	恵比寿講	恵比寿講
51	十一月十五日	十一月十五日	十一月十五日	十一月十五日	十一月十五日	十一月十五日
50	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日
49	亥の子餅	亥の子餅	亥の子餅	亥の子餅	亥の子餅	亥の子餅
48	十三夜	十三夜	十三夜	十三夜	十三夜	十三夜
47	十五夜	十五夜	十五夜	十五夜	十五夜	十五夜
46	秋彼岸	秋彼岸	秋彼岸	秋彼岸	秋彼岸	秋彼岸
45	風祭り	風祭り	風祭り	風祭り	風祭り	風祭り
44	秋・冬の行事	秋・冬の行事	秋・冬の行事	秋・冬の行事	秋・冬の行事	秋・冬の行事
43	盆勘定	盆勘定	盆勘定	盆勘定	盆勘定	盆勘定
42	まんど	まんど	まんど	まんど	まんど	まんど
41	賽日	賽日	賽日	賽日	賽日	賽日

四

第五節 人の一生

一 産育に関する習俗

1 帯祝い

2 出 産

3 お宮詣り

4 食初め

5 初節季

6 初節句

7 誕生祝い

8 三つ帯

二 成人に関する習俗

9 七五三

10 初ふんどし

11 入 学

12 元 服

13 成人式

14 入・退営

三 婚姻に関する習俗

15 恋愛・見合い

16 橋 掛

17 仲人親

18 鉄漿親

19 手締め

20 結 納

五四

五四

五五

五六

五七

五七

五七

五七

五八

五八

五八

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

四

年祝に関する習俗

33 里帰り

32 村回り

31 披露宴

30 草鞋酒

29 鉄漿付

28 食 膳

27 神前結婚

26 夫婦・親子盃

25 由緒書

24 嫁入り

23 一見客

22 見立客

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

21 嫁入道具

五二

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五三

五

喪葬に関する習俗

39 銀婚・金婚式

38 米 寿

37 喜 寿

36 古 稀

35 還 暦

34 厄 年

43 門 牌

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

五九

44	葬送	五〇
45	初七日	五二
46	寺詣り	五二
47	御念仏	五二
48	精進落し	五二
49	葬儀と隣保	五三
50	香奠帳	五四
51	新盆	五四
52	年忌	五四
第六節 口碑伝説		
1	赤穂	五五
2	駒ヶ岳の神馬と駒形	五五
3	早太郎の墓	五六
4	稚児石	五八
5	切石	五九
6	疱瘡石	五九
7	地蔵石	五九
8	鳶地蔵	五〇
9	駒石	五〇
10	童子の神様	五一
11	美女森と湯奉の沢	五一
12	盲人石	五二
13	疣地蔵	五二
第七節 わらべ唄		
14	山犬の話	五三
15	蛇足	五四
16	中沢	五四
17	落石	五四
18	雨乞淵	五四
19	馬の足あと	五四
20	めおと淵	五四
21	古城の白狐	五四
22	五人死霊塔	五五
23	かつら淵の河童	五五
24	浮島	五五
25	小鍛冶の矢文	五五
26	比丘尼坂	五七
27	東伊那	五七
28	河童の妙薬	五七
29	高鳥谷の社	五七
30	蚕玉石	五八
31	子守唄	五九
32	ねんねんよう	五九
33	ねんねん小山の	五九
34	お月様いくつ	五九
35	赤猫三匹	五九
36	ねんねこ	五九
37	さんねこ	五九

29	柳のお下で……	六四
28	かわい女子に……	六四
27	おうらが昔若い時……	六三
26	おんしろしろしろ……	六三
25	じゃうくろじゃうくろ(三)	六三
24	じゃうくろじゃうくろ(一)	六三
23	店にはお十七……	六三
22	向う通るは……	六三
21	むことりい山に……	六三
20	一夜六部を……	六三
19	おようようよう……	六二
18	おまん様と……	六二
17	向うのお山で光るは何だ……	六二
16	通り一丁目の……	六二
15	お寺の坊さん……	六二
14	ひいふは三吉……	六二
13	わしの姉さん……	六〇
12	おらが弟の千松……	六〇
11	しゃんこしゃんこ……	六〇
10	手毬唄……	六〇
9	お月様のような……	五九
8	お月様さえ……	五九
7	お釈迦様でも……	五九
6	猫のけつへ蟹が三匹……	五九

三

53	正月二月……	六九
52	おひとおひと……	六九
51	ぞうりぞうり……	六九
50	子をくりよ……	六九
49	かごのめ……	六九
48	遊戯唄……	六八
47	向うの山をこんざる三匹通る……	六八
46	向う通りい山に鶯が一羽……	六八
45	天から落ちたおいもやさん……	六八
44	おらが小さい時や……	六八
43	一の門こして……	六七
42	受けとった 受けとった……	六七
41	ざあくろ ざくろ……	六七
40	おん正 正正 正月は……	六七
39	あい川新川……	六六
38	向うのお山の三吉は……	六六
37	今年始めて奉公に出たらね……	六六
36	おらが昔若い時……	六五
35	一二の三四の五……	六五
34	京の室町……	六五
33	向う通るはお菊じゃないか……	六四
32	向うのお山で鳴く鳥は……	六四
31	鶯や鶯や……	六四
30	むこうのお山で……	六四

駒ヶ根市誌年表

54	おえびすさま	六九
55	ひつとりふったり	六九
56	とんびとんび	六〇
57	ほったるこい	六〇
58	ほったるさん	六〇

59	ほったるこい	六〇
60	びびんびよどり	六〇
61	一は万物のはじまり	六〇
62	肩どのひじどの	六〇

六二～六六

駒ヶ根市誌資料提供者一覧

駒ヶ根市誌編さん委員会・駒ヶ根市誌刊行会 会則・役職員名簿

あとがき

六七

六九

六九